



文部科学省イノベーションシステム整備事業
 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム
 「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」
 第3回 公開シンポジウム

プロテオミクスによって明らかになってきた 精神神経疾患のメカニズム

**参加
無料**

日時：2012年2月10日(金)
13:00~16:35 (受付は12時から開始します)

場所：横浜情報文化センター6F 情文ホール

主催：公立大学法人 横浜市立大学
 後援：横浜市政策局

プログラム

- [13:00~13:10] 開会の辞および挨拶
 本多 常高(総括責任者/横浜市立大学 理事長)
 木村 直人(文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 地域支援企画官)
 (司会:高橋 琢哉)
- [13:10~13:40]
 「精神神経疾患におけるAMPA受容体シナプス移行」
 高橋 琢哉(横浜市立大学 生理学 教授)
- [13:40~14:10]
 「文脈学習に必要なAMPA受容体のシナプス移行：海馬CA1でのシナプス可塑性」
 美津島 大(横浜市立大学 生理学 准教授)
- [14:10~14:40]
 「神経終末アクティブゾーンによる脳高次機能制御とその破綻」
 大塚 稔久(山梨大学 生化学講座第1教室 教授)
- [14:40~15:00] Break
- [15:00~15:30]
 「精神神経疾患をいかに早期に診断するか：バイオマーカー開発の試み」
 五嶋 良郎(横浜市立大学 分子薬理神経生物学 教授)
- [15:30~16:00]
 「新規神経回路形成分子LOTUSの機能と神経再生医療への応用」
 竹居 光太郎(横浜市立大学 分子薬理神経生物学 准教授)
- [16:00~16:30]
 「研究の前提となるべき精神科診断の現実と課題 - From Bedside」
 内田 裕之(慶應義塾大学 精神・神経科学教室 助教)
- [16:30~16:35] 閉会の辞
 平野 久(拠点長/横浜市立大学 生体超分子相関科学 教授)



参加登録:

ホームページよりお申し込みください。

<http://www.yokohama-cu.ac.jp/shincho/activity/symposium/120210.html>

- ※ 参加申込締切：2月9日(木)
- ※ 定員(200名)になり次第締め切ります。
- ※ 学内の方はE-mailでの受付となります。



【お問合せ先】

公立大学法人横浜市立大学
 『翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成』
 シンポジウム事務局(担当:北井、橋村)

TEL: 045-787-2592 E-mail: kyoten@yokohama-cu.ac.jp

【交通アクセス】

みなとみらい線「日本大通り駅」 情文センター口 0分
 JR・横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩10分

